

## 目標IX 文化芸術の振興

### 施策 27 文化芸術活動の充実

- [1] 文化芸術活動への参加の促進
- [2] 子供たちの文化芸術活動の充実
- [3] 障害者の文化芸術活動の支援
- [4] 県立美術館などにおける活動の充実 **重点項目 10-②**
- [5] オリンピック・パラリンピックなどの開催を契機とした文化芸術活動の振興

\*が付された予算額は会計年度任用職員給与費を含んでいます。

#### ○ 埼玉県芸術文化祭の開催 (11,709千円) (担当:文化資源課) [1]

##### (1) 地域文化事業

市町村や文化団体との共催により、地域における伝統文化の継承や文化活動の発表機会の提供及び文化活動の鑑賞・体験・交流機会の拡充を目的として、地域に根ざした文化事業を開催する。

- ・ 伝統芸能、音楽コンサート、美術展覧会など県内各地で開催
- ・ 開催時期 令和3年8月～12月



第13回地域伝統芸能今昔物語映像記録会

##### (2) 芸術文化ふれあい事業

文化団体の専門家が学校や公民館などに出向いて、公演や実技指導を行う。

- ・ 音楽、美術、舞踊、演劇・演芸、文芸、生活文化、国際交流の7分野 59メニュー
- ・ 実施期間 令和3年4月～令和4年3月

##### (3) 文化団体・イベントマッチング事業

文化芸術活動の新たな発表・鑑賞・体験機会を創出するため、発表機会を求める文化団体とイベントの充実を図る主催者をマッチングする。

- ・ 実施期間 令和3年5月～令和4年3月



和太鼓の演奏

##### (4) 協賛事業

埼玉県芸術文化祭の趣旨に賛同して行われる各種芸術文化事業を県芸術文化祭の関連事業として承認する。

- ・ 実施期間 令和3年4月～12月

#### ○ 障害者の生涯を通じた多様な学習活動推進事業 [3] (施策13参照)

#### ○ 県立博物館・美術館等における教育・普及事業 (担当:文化資源課) [4]

近代美術館において、学校との連携事業や、作品鑑賞をもとにしたワークショップ・講座などを実施する。また、歴史と民俗の博物館をはじめとする全ての県立博物館等において、学校との連携事業や地域資源を活用した体験プログラムなどを実施する。

## 施策 28 伝統文化の保存と持続的な活用

- [1] 伝統文化の保存・活用・価値の再評価
- [2] 伝統文化の魅力発信と学ぶ機会の充実
- [3] 市町村の取組への支援

重点項目 10-①  
重点項目 10-②

\*が付された予算額は会計年度任用職員給与費を含んでいます。

- **文化遺産調査活用事業**（4,059千円\*）（担当：文化資源課）【1】【3】  
埼玉の歴史文化を再発見し、埼玉の魅力を世界に発信するため、潜在的な歴史文化遺産を新たに掘り起こすための学術調査を実施するほか、文化財保存活用地域計画を策定する市町村に対して支援を行う。  
また、新しい視点での博学連携プログラムを開発する。
  - ・ 無形民俗文化財調査：「巡り・廻りの民俗行事」の調査
  - ・ 自然遺産調査：入間川本流域を中心とした「入間川流域自然遺産」の調査
  - ・ 歴史遺産調査：江戸時代に編纂された「新編武蔵風土記稿」に係る文化財の調査
  - ・ 地域の文化財保存活用に係る市町村の取組への支援：文化財保存活用地域計画を作成した他縣市町村の事例調査や市町村担当者向けの研修会開催、文化財保存活用地域計画作成中の市町村に対する助言等
  - ・ 博物館・美術館等を活用した子供パワーアップ事業：児童生徒が実感的に学びながら、文化・文化財の価値を理解し、郷土に愛着を持つことができるよう、博物館・美術館等と学校との連携を支援
  
- **文化財保護事業補助**（141,260千円）（担当：文化資源課）【1】  
文化財の所有者・管理者等が行う文化財の保存事業に対し補助金を交付し、指定文化財の適切な管理を図る。
  - ・ 国指定文化財、県指定文化財の保存事業に対する補助金の交付
  - ・ 埋蔵文化財包蔵地内で行われる建設工事に先立ち、市町村が実施する試し掘り等の調査に対する補助金の交付
  - ・ 県指定無形民俗文化財の後継者養成を目的とした事業に対する補助金の交付
  - ・ 国指定文化財、県指定文化財の防災設備整備及び災害復旧など緊急対応等に対する補助金の交付
  
- **特別史跡埼玉古墳群保存活用事業**（22,798千円\*）（担当：文化資源課）【1】  
本県を代表する文化遺産であり、学術上の価値が特に高く我が国文化の象徴である特別史跡に指定されている埼玉古墳群は、大型古墳9基を中心とする東日本屈指の古墳群である。この埼玉古墳群の恒久的な保存を図るとともに、その価値を顕在化させ、広く県民に公開するために必要な整備を行う。
  - ・ 愛宕山古墳発掘調査
  - ・ 二子山古墳発掘調査報告書の作成
  - ・ 奥の山古墳整備工事
  - ・ 特別史跡埼玉古墳群整備基本計画の策定



特別史跡埼玉古墳群 遠景

○ 県立博物館・美術館等における活動の充実（担当：文化資源課）【2】

(1) 歴史と民俗の博物館～ 埼玉の「いま」と「むかし」を体験する人文系総合博物館 ～

埼玉の歴史と民俗に関する地域的特性を明らかにし、その成果を展示公開・情報発信するとともに、子供たちの感性を育む体験的事業を行う。



久喜市小林八束1遺跡出土 土偶

企画展・特別展	期 間	内 容
NHK大河ドラマ特別展 「青天を衝け ～渋沢栄一のまなざし～」	R3. 3. 23 ～ 5. 16	新一万円札の肖像やドラマの主人公等に関心が高まっている渋沢栄一を経済人としてだけでなく教育や民間外交など多角的に紹介する。 埼玉150周年・当館開館50周年記念事業。
企画展「太平記絵巻」	R3. 7. 17 ～ 9. 5	色彩豊かな「太平記絵巻」全12巻のうち県所蔵の5巻を16年ぶりに一挙公開する。
特別展「埼玉考古50選」	R3. 10. 9 ～ 11. 23	埼玉の歴史を考える上で欠くことのできない考古資料を厳選して紹介する。また、現在は県外の博物館等に所在している資料の一部も「里帰り」する。埼玉150周年・当館開館50周年記念事業。
企画展「お茶を楽しむ」	R4. 1. 2 ～ 2. 13	埼玉県産茶産地としての歴史を振り返るとともに、お茶農家の現在の取組などを紹介する。
企画展「埼玉武術英名録」	R4. 3. 19 ～ 5. 8	剣術、柔術を中心とする、埼玉県ゆかりの武術諸流派や歴史上に名を残した武者などを紹介する。
共催展「昌国寺」 ※会場：鉢形城歴史館	R4. 3. 19 ～ 5. 8	寄居町鉢形城歴史館と共催し、地元の寄居町で旗本水野家ゆかりの昌国寺の什物（じゅうもつ）や古文書などを一堂に公開する。

(2) 史跡の博物館～ 大地に刻まれたいにしへのロマンを再発見する史跡系博物館 ～

特別史跡「埼玉古墳群」・国指定史跡「比企城館跡群（菅谷館跡）」に位置する史跡系博物館として、県内の遺跡から出土した遺物の展示や様々な体験学習を通して郷土の歴史に関する理解を深める事業を行う。



近畿地方から埼玉古墳群に運ばれた大甕（おおがめ）

企画展・特別展	期 間	内 容
企画展「運ぶー埼玉古墳群とモノの動きー」	R3. 7. 10 ～ 9. 12	埼玉古墳群から出土した土器や埴輪、石室の石材はどこで生産されて、どのように運ばれたのか。古墳群周辺の地形や人々の暮らしの痕跡から河川を通じた物流について考える。（さきたま史跡の博物館）
最新出土品展 「地中からのメッセージ」	R3. 10. 9 ～ 11. 21	令和2年度中に発掘・整理した資料を中心に、特に注目され話題となったものや学術的価値の高い資料をいち早く公開する。（さきたま史跡の博物館）
企画展「実相 忍びの者」	R3. 8. 7 ～ 9. 20	関東地方を中心とした忍びに関する中世の一次史料・考古資料を収集し、戦国期を中心に、その実像を提示する。（嵐山史跡の博物館）

(3) 自然と川の博物館～ 自然と人々との共生を創出する自然系総合博物館 ～

県内唯一の自然と環境分野を主題とした博物館として、恵まれた立地条件を活かし、自然と環境をキーワードとした体験を通じて楽しく学べる事業を行う。

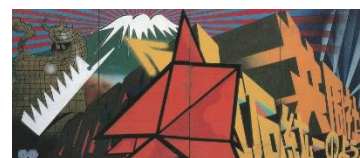


自然の博物館の前身「陳列所」が描かれた「秩父ながとろ遊園地図絵」

企画展・特別展	期 間	内 容
企画展「新収集品展」	R3. 3. 23 ～ 6. 20	平成27年度から現在までに採集・寄贈された1万点を超える資料の中から、選りすぐりのコレクションを展示・紹介する。（自然の博物館）
企画展 「ジオパーク秩父へ出かけよう！」	R3. 7. 3 ～ 10. 17	埼玉県北西部に位置するジオパーク秩父の主要な見どころを取り上げながら、現地での楽しみ方を紹介する。（自然の博物館）
特別展 「自然の博物館100年の軌跡～標本陳列所から自然史の足跡をたどる～」	R3. 10. 30 ～ R4. 2. 27	前身の「秩父鉱物植物標本陳列所」から秩父自然科学博物館を経て、全国初の県立自然系総合博物館として開設した当館のあゆみとこれからの展望を紹介する。（自然の博物館）
企画展「生きものの名前」	R4. 3. 12 ～ 6. 19	当館が扱う資料を中心に、「和名」「学名」「地方名」など、名前の由来や命名上のルールなどを紹介する。（自然の博物館）
特別展 「すみか～身近なすみかを見てみよう～」	R3. 7. 10 ～ 8. 31	「身を守る」「餌を取る」「子を育てる」など、様々な目的で作られる動物の多様なすみかを写真や実物で紹介する。（企画：自然の博物館、実施：川の博物館）

(4) 近代美術館～ 埼玉と世界を結ぶ新たな美術との出会いがある美術館 ～

埼玉を核としながら、県内外の優れた美術作品を収集、展示するとともに、独自のテーマによる密度の高い企画展を開催する。また、美術への理解と関心を高め、創造の喜びを体験する各種の普及事業を行う。



立石紘一／タイガー立石  
《立石紘一のような》1964年  
高松市美術館蔵

企画展・特別展	期 間	内 容
コレクション 4つの水紋	R3. 3. 23 ～ 5. 16	当館の4人の収蔵作家、ポール・シニャック、奥原晴湖、シャルロット・ペリアン、重村三雄を起点にコレクションを紹介する。
ボイス+パレルモ	R3. 7. 10 ～ 9. 5	第二次大戦以降の最も重要な芸術家のひとりであるヨーゼフ・ボイスと、そのボイスに師事したプリンキー・パレルモ。一見対照的な両者を併せて紹介し、社会と芸術の関係を問いかける。
美男におわす	R3. 9. 23 ～ 11. 3	人々の憧れを招いた魅力的な男性の姿、江戸の粋を体現する伊達男や近代の逞しい男性美、現代のジェンダーレスな身体など、それぞれの時代であらわされてきた美のイメージを探る。
大・タイガー立石展 世界を描きつくせ！	R3. 11. 16 ～ R4. 1. 16	芸術家として出発し、漫画、イラストレーション、絵本へと活動の場を拡大したタイガー立石の活動を紹介する本格的な回顧展。さいたま市のうらわ美術館との共同開催。
開館40周年記念展[1] コレクション展	R4. 2. 5 ～ 5. 15	2022年に開館40周年を迎える近代美術館が、積み重ねてきた収蔵作品や資料を、様々な角度から紹介。コレクションの新しい捉え方を考えるとともに、美術館のこれからを展望する。

(5) 文書館～ 郷土の歴史と記録を伝える埼玉の“ふみくら”～

埼玉に関する歴史的・文化的に価値のある記録資料を収集し、県民共有の財産として保存するとともに、これらを活用して教育、学術及び文化の発展に寄与するため、展示や講座などの事業を行う。

企画展	期 間	内 容
企画展「埼玉スポーツものがたり」	R3. 7. 1 ～ 9. 5	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に因み、近現代の資料を中心に、明治時代から現代に至る埼玉県におけるスポーツの普及、発展の歴史を紹介する。
企画展「埼玉の黎明」	R3. 9. 28 ～ 11. 28	埼玉県誕生150周年を記念し、幕末期から明治維新を経て、諸藩や旗本領代官支配地が埼玉県へとなる過程と、その後の県の足跡を国指定重要文化財「埼玉県行政文書」などから辿る。
企画展 「古物を伝える一好古家のみた埼玉」	R3. 12. 14 ～ R4. 2. 13	好古家の人々が収集した、埼玉の歴史に関わる資料について、彼らの業績とともに紹介する。
企画展「お宝地図－文化財マップの世界－」	R4. 3. 8 ～ 5. 8	県内の文化財マップを中心に、歴史の道や舟運などの調査報告書、江戸時代の地誌も取り上げ、お宝地図の変遷や利用方法を紹介する。

(6) さいたま文学館～ 県民の文学活動の拠点となり、文学を通して埼玉を発見する文学館～

本県にゆかりのある文学者の作品や関連資料を収集・保存・調査研究し、常設展・企画展での展示や図書室での閲覧などにより文学の振興を図るとともに、県民が文学活動に参加する機会を提供する。

○ オリパラおもてなしミュージアム (1,452千円) (担当：文化資源課) [2]

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、県立博物館・美術館の合同展覧会により、埼玉の魅力を国内外に発信し、郷土や我が国の歴史・文化を誇りに思う心を醸成する。

- ・ 県立博物館・美術館施設8館合同で多言語のリーフレットの作成等